

# 山ふところの里 内田めぐりかるた



読み札の解説は裏面にあります  
※(せぬり)を(を)は表記なし



鍾伏山  
ふみ

崖の湯 温泉

あらた池

崖ノ湯口

八幡原八幡社

法船寺

桃昌寺

大神社

常楽寺

内田

内田地区  
地域づくりセンター

舟ノ内正八幡宮

内田運動広場

内田児童館  
内田保育園  
内田体育館

内田  
ファーマース  
ガーデン

寿台養護学校

明善中学校

明善小学校

松中ろう学校

片丘郵便局

ささらの里

鍾伏山

牛伏川

牛伏寺タム

牛伏川

牛伏川

舟沢川

馬場家住宅

アルプス展望しのめのみち

松本CC

鍾伏山

崖の湯 温泉

あらた池

崖ノ湯口

八幡原八幡社

法船寺

桃昌寺

大神社

常楽寺

内田

内田地区  
地域づくりセンター

舟ノ内正八幡宮

内田運動広場

内田児童館  
内田保育園  
内田体育館

内田  
ファーマース  
ガーデン

寿台養護学校

明善中学校

明善小学校

松中ろう学校

片丘郵便局

ささらの里



# 山ふところの里 内田めぐり **か** **る** **た**



**あ** **あ**ばれる川を **か** 治めるために **お** 技をつくした **わ** 階段工 **か** 階段工  
牛伏川階段工は大正7年(1918年)完成の砂防施設です。階段状の流路は熟練した石積技術によって造られており、平成24年(2012年)には国の重要文化財に指定されています。

**い** **い**色とりどりの **お** 御幣を飾る **か** 荒井 **よ** 横山 **きた** 北の花見 **か** 花見  
竹の先を割って色紙を挟んだ御幣と細竹に色紙を巻きつけた稲花を作り、これらを神木に飾り付けて道祖神の脇に立てます。荒井(1)、横山(2)、北花見(3)の地区で続く小正月の行事で、平成12年(2000年)に市の重要無形民俗文化財に指定されています。

**う** **う**雨水流れる **か** かれ谷なれど **あ** めめ谷 **あ** 雨掘 **な** 遺跡の名 **か** 遺跡  
雨堀遺跡は、東山山麓の自然流路両側台地上で発見された縄文時代中期のムラの遺跡です。竪穴住居跡、土器、石器、土偶などが発見されています。

**え** **え**エリ穴遺跡 **ぜん** 全国屈指 **く** 出土の資料 **し** 考古館 **り** 考古館  
エリ穴遺跡は縄文時代中期から晩期の遺跡で、竪穴住居跡、土器、石器、土製の耳飾りなどが発見されています。特に土製の耳飾りは全国屈指の出土量です。出土品は考古博物館に収蔵されています。

**お** **お**親子の神を **へい** 併合合祀 **よ** 横山諏訪社 **お** 大神社へ **か** 大神社  
大神社には大國主神(おおくにぬしのかみ)が祀られていましたが、明治40年(1907年)に事代主神(ことしろぬしのかみ)と建御名方神(たけみなかたのかみ)を祀る横山諏訪社が併合合祀され、親子の神が祀られることになりました。

**か** **か**カキの老木 **てん** 天然記念 **い** 今も元気に **み** 実をつける **か** 実  
個人所有の渋柿で樹齢は推定300年以上です。目通り幹周2.25m、高さ15m程度あり、昭和42年(1967年)に市の特別天然記念物に指定されています。

**き** **き**教育熱心 **こ** 子どもは宝 **た** 寺子屋 **が** 学校 **ほ** 保育園 **か** 保育園  
江戸時代から寺子屋が置かれ、明治6年(1873年)には村人の熱意で明善学校が設置されています。昭和28年(1953年)には片丘北部保育園が設置されるなど、子どもは宝という意識が今も住民に根付いています。

**く** **く**国や県市の **た** 宝も多い **お** 牛伏寺厄除け **か** 観世音 **か** 観世音  
牛伏寺は法灯千有余年の歴史を有する真言宗の名刹です。国の重要文化財に指定されている八咫の仏像のほか、30余点が県宝、市重要文化財の指定を受けています。厄除け縁日には県内外から10万人余りが参道を埋め尽くします。

**け** **け**献上の馬 **そ** 育てた証 **ち** 地名に残る **ま** 牧の内 **か** 牧  
奈良・平安時代には、朝廷に献上する馬を飼育する牧場(北内牧、南内牧)があったとされています。牧の内一帯に、牧に関係した地名が今も残っています。

**こ** **こ**公民館は **き** 旧公会堂 **ち** 地域の暮らしに **ね** 根付いてる **か** 公民館  
北内田公民館は昭和23年(1948年)の開設です。昭和3年(1928年)建築の「公会堂」を改名して使用しました。昭和35年(1960年)に北内田が松本市へ合併したことに伴い、松本市内田公民館になりました。

**さ** **さ**ササヲ踊りは **うち** 内田の宝 **そ** 素朴な仕草 **ぼん** 盆 **よ** 夜の夜 **か** 盆踊り  
内田のササヲ踊りは、竹の皮を38枚ほど合わせたササヲという楽器を鳴らしながら踊ります。踊りは献上馬との惜別を表現していると考え鎌倉時代まで遡ります。昭和51年(1976年)に市の重要無形民俗文化財に指定され、今も盆祭りで行われます。

**し** **し**四ヶ村葉師 **きた** 北河原堂 **だん** 檀家集まり **まつ** 祭りする **か** 祭り  
四ヶ村は「北花見、南花見」、「寺村、清水」、「宮ノ下」、「蔵村」を指し、本尊は薬師如来。毎年月遅れの5月に灌仏会が行われ、地元では「花祭り」、「あま茶祭り」と呼びます。花御堂を花で飾り、お釈迦様の幼児仏に甘茶をかけて祝います。

**す** **す**推定樹齢 **ご** 五百と余年 **け** 稀有なカラマツ **か** 牛伏寺に **か** 牛伏寺  
このカラマツは牛伏寺観音堂から東へ50m上がったところにあり、樹齢は推定500年以上です。目通り幹周3.7m、高さ40m程度あり、昭和42年(1967年)に市の特別天然記念物に指定されています。

**せ** **せ**堰を払いて **すい** 水神様に **ほう** 豊作祈り **みず** 水を引く **か** 水  
春先、用水路の堰を取って田んぼに水を引入れる際、水神様にお米の豊作を祈りました。

**そ** **そ**俗に呼ばれし **か** からかさ松よ **か** 形美し **あ** 赤い松 **か** 赤い松  
内田運動広場駐車場から東へ100mほどの所にあったアカマツです。地元では「からかさ松」と呼ばれ、その名のとおおり、地上4m上で太い枝が四方に伸び、かさ状に10mを覆う美しい樹姿でした。

**た** **た**大融和尚 **ならい** 奈良井の宿で **き** 京に行かずも **あ** 秋葉さま **か** 秋葉さま  
火伏の神様「秋葉大権現」の石碑です。村を火災から守るため、村の代表が京都のお寺に文字を書いてもらいに行く途中、奈良井宿で一泊した際、京都まで行く必要がないほど字が上手な大融というお坊さんに拝書していただいたと伝えられています。

**ち** **ち**丁石目印 **か** 牛伏寺へ行く **さん** 参道沿いに **み** 道案内 **か** 道案内  
内田運動広場東側の旧参道の辻に、牛伏寺へお参りに来た人々の道案内として置かれていた丁石「二十二丁」があります。紀年銘はありませんが江戸時代のものと考えられています。他に十七丁、十八丁、二十三丁、二十四丁があります。

**つ** **つ**梅雨になるころ **み** 見ごろ迎える **あ** じさい寺の **ほ** 法船寺 **か** 法船寺  
法船寺は永祿4年(1561年)開山の真言宗の寺院です。境内には約1,300株のあじさいが植えられ、あじさい寺として親しまれています。その他樹齢約350年の大銀杏や250年の枝垂桜もあり、昭和57年(1982年)に市の特別名勝に指定されています。

**て** **て**天然記念 **ま** まれなる巨木 **じ** 城主手植えの **こ** コウヤマキ **か** コウヤマキ  
松本城主小笠原秀政の手植えとされるコウヤマキで、樹齢は推定350年以上です。目通り幹周3.4m、高さ25m程度あり、県内外でも稀に見る巨木です。昭和50年(1975年)に市の特別天然記念物に指定されています。

**と** **と**途絶えた舞を **ふ** 再び興す **か** 牝獅子珍し **し** 神楽舞 **か** 神楽舞  
クネノ内正八幡宮の奉納獅子舞神楽は雌獅子であり、雌獅子の舞は全国的にも珍しいとされています。しばらく途絶えていましたが、平成10年に復活し、今も奉納が続いています。

**な** **な**投げる小石を **し** 印に当てて **あ** 晴れを願った **ご** 五輪塔 **か** 五輪塔  
石碑に凶案化された五輪塔が彫られており、上から空、風、火、水、地を表しています。昔の子どもたちは少し離れた所から小石を投げ、下から2番目の○に命中すれば「明日は晴れ」と願をかけました。

**に** **に**二十八枚 **あ** 吾妻鏡 **さ** 左馬寮領牧 **うち** 内田牧 **か** 内田牧  
鎌倉幕府の記録「吾妻鏡」には、信濃国の左馬寮領牧(朝廷に献上する馬を飼育する牧場)として28枚が載っており、この中に北内、南内の牧も含まれています。

**ぬ** **ぬ**糠にさいかち **こ** コショウを入れて **き** 木戸先燻す **こ** こと八日 **か** こと八日  
村里を守る道祖神が出雲国へ出かけて留守である2月8日の朝、疫病神から村を守るため、各家で「ぬか、栗、唐辛子、さいかちの実、ねぎ、粉殻」などを木戸先で焼く「ヌカエシ」が行われました。

**ね** **ね**根の張る広さ **か** 計りも知れず **うち** 内田のケヤキ **ふる** 古屋敷 **か** 古屋敷  
馬場家住宅の祝殿の境内にあるケヤキで樹齢は推定800年以上です。目通り幹周7.5m、高さ35m程度あり、昭和42年(1967年)に市の特別天然記念物に指定されています。祝殿には馬場家の屋敷数の古屋敷大明神が祀られています。

**の** **の**農産物を **いの** 猪から守る **し** 猪土手の跡 **あ** ホール内 **か** ホール内  
農産物を猪や鹿から守るため作られた「猪土手」は、文禄年間(1592-1596)に初めて構築され、江戸時代末期まで役目を果たしたと伝えられています。松本カントリークラブゴルフ場に「猪土手」の一部が復元され、13番ホールには記念碑が建てられています。

**は** **は**八間長者に **よ** 横山 **ま** 真田 **さ** 三郎 **あ** 浅田 **しろ** 城の跡 **か** 城跡  
八間長者城(1)は屋の湯の北にあったとされる山城です。その他、赤木山の北に横山城(2)、真田部落塩沢川の北に真田城(3)、屋の湯下に三郎城(4)、向井のはずれに浅田城(5)があったと伝えられています。

**ひ** **ひ**一ツ家遺跡 **まつ** 松山遺跡 **すな** 砂原 **せい** 清心 **ご** 五斗林 **か** 遺跡  
一ツ家遺跡(1)、松山遺跡(2)、砂原遺跡(3)、清心遺跡(4)、五斗林遺跡(5)は、縄文時代の遺跡です。この時代、東山山麓一帯は温暖な気候に恵まれ、豊かな食料資源に支えられて人口が急増し、多くのムラが出現したと考えられています。

**ふ** **ふ**冬の終わりを **は** 告げる八の字 **ほ** 鉢伏山の **は** 春便り **か** 春便り  
「鉢伏山の雪形が八の字型」、内田地区では、この雪形の出現を見て苗代作りや、種まきを始めたといわれています。

**へ** **へ**米寿卒寿は **お** まだ若者よ **ち** 長寿の秘訣 **ひ** 崖の湯か **か** 崖の湯  
米寿は88歳、卒寿は90歳。「崖の湯温泉」は明治7年(1874年)頃の開発とされ、昭和36年(1961年)に塩尻市南内田から分離して松本市へ合併しました。

**ほ** **ほ**洞穴遺跡 **まつ** 祭りの場所か **は** 八幡原の **は** 八幡社 **か** 八幡社  
八幡原八幡社の創立年代は不詳ですが、京都府の石清水八幡宮から御神霊を勧請し祀っています。大正時代に境内地から洞穴遺跡が発見されました。内部には木柱があり石器遺物が多く出土しました。古くから祭りを行っていた所と推測されています。

**ま** **ま**松本城の **に** 二番の太鼓 **たい** 運びし先は **く** クネノウチ **か** クネノウチ  
クネノウチ正八幡宮の奉納太鼓は、松本城黒門にあって武士登城の合図として告げられた「二番呼び出し太鼓」です。松本城が競売に出された際、北内田村が競り落とすとされています。太鼓は、櫓の玉空くり貫きで直径約85cm、長さ約100cmです。

**み** **み**水の源 **み** 水分りの山 **あ** 雨乞い祈願 **す** 鉢伏神社 **か** 鉢伏神社  
鉢伏山(1928.5m)は古くから水源の山として山岳信仰の対象とされており、かんばつの際には山頂にある鉢伏神社奥社で雨乞い神事が行われてきました。松本市内田と塩尻市片丘南内田区の財産管理委員会では毎年6月に例祭を行っています。

**む** **む**村人たちに **は** 法度や掟 **し** 知らせるための **こう** 高札場 **か** 高札場  
法度、掟書、犯罪人の罪状などをし、交通の多い辻など目立った場所に掲げた板札を高札といい、その場所を高札場といいました。旧道の石牛伏寺、左松本の分岐点にあり交通の要所でした。

**め** **め**明善学校 **ゆ** 由来を聞けば **こ** 子恩の中庸 **だい** 第三段 **か** 第三段  
明善学校は明治6年(1873年)の開校。明善の原典は、中国宋代の四書のひとつ「中庸」の第三段第三小段第三節の中にある「誠身有造 不明乎善 不誠乎身矣(身ヲ誠ニスルニ道有リ 善ニ明ラカナラザレバ身ニ誠ナラス)の一節とされています。

**も** **も**守神さまの **う** 裏手にありて **の** のちに伝えし **じん** 神代乗 **か** 神代乗  
荒井の守神の裏に神代乗と呼ばれる大きな栗の木があり、昭和7年(1932年)には県の天然記念物に指定されていました。国の天然記念物の指定も内定していましたが、昭和34年(1959年)の伊勢湾台風の際に倒れて枯死してしまいました。

**や** **や**大和の国より **ご** 御神霊勧請 **よ** 横山諏訪社も **へい** 併合す **か** 併合  
年代は不明ですが、大和の国(奈良県)の大神神社から御神霊が勧請され大神社へ祀られました。また、明治40年(1907年)には、横山諏訪社が大神社へ併合合祀されました。

**ゆ** **ゆ**由来は昔 **あ** 在りし釈迦堂 **「** しゃかんど **」** と呼び **お** 親しまれ **か** 親しまれ  
牛伏寺が発行した「牛伏寺」誌によると、内田にあった釈迦堂が天文3年(1534年)に牛伏寺に移されたといわれています。釈迦堂跡からは縄文時代前期の土器片も出土しています。

**よ** **よ**養蚕増収 **あ** 災い払う **さ** 素朴な信仰 **か** 蚕玉さま **か** 蚕玉さま  
「蚕玉大神」と刻み込まれた1mほどの自然石の道祖神です。養蚕の増収を願ったり、悪霊や災いが村の中に入ってほしくないという農民の素朴な生活信仰の一端を示すものと考えられています。

**ら** **ら**蘭子のピアノ **きん** 貴重な資料 **の** 残る馬場家は **くに** 国重文 **か** 国重文  
蘭子のピアノは、馬場家16代当主夫人馬場蘭子氏にちなみ呼び親しまれているピアノです。このピアノをはじめ貴重な資料が多く残る馬場家住宅は、江戸時代末期の民家建築の貴重な遺構とされ、平成8年(1996年)に国の重要文化財に指定されています。

**り** **り**理想は子ども **み** 自ら作る **ま** 守り続ける **さん** 三九郎 **か** 三九郎  
三九郎は、無病息災、五穀豊穡を願う300年の時を超えて伝えられている行事です。内田地区では、町会単位や常会単位(道祖神単位)で行われます。昔のように子どもたちが自ら作ることが理想ですが、今後も永く受け継いでいってほしいものです。

**る** **る**留守になるため **こ** 子どもを預け **の** 農村託児所 **じ** 常楽寺 **か** 常楽寺  
常楽寺は真言宗の古刹です。昭和25年(1950年)に季節の農村託児所が開設されました。江戸後期には寺子屋が開かれ、明治には明善学校の校舎となり、大正・昭和にはササヲ踊りが境内で踊られるなど、内田の文化センター的役割を担ってきました。

**れ** **れ**レジャー観光 **かん** ゴルフもできる **ほ** 鉢伏山麓 **け** ケイト山 **か** ケイト山  
牛伏寺ダムの上流に、川底に自然石を敷いた「水遊びの広場」(1)や、キャンプ場等を設けた「いこいの広場」(2)があり、水辺に親しめる環境が整備されています。また、昭和46年(1971年)に松本カントリークラブゴルフ場(3)がケイト山にオープンしています。

**ろ** **ろ**六道 **な** 梨ノ木 **し** 市街化進み **ひ** 住宅できて **ふ** 人増える **か** 人増える  
昭和50年代後半から平成にかけて、六道や梨ノ木地籍等で宅地造成が進んで住民が増えました。平成3年には第7町会(1)が、平成7年には第8町会(2)と第9町会(3)が既存町会から分離独立して誕生しました。

**わ** **わ**若者たちが **ち** 力を自慢 **じ** 地蔵を使った **とう** 桃昌寺 **か** 桃昌寺  
桃昌寺は曹洞宗の寺院で始まりは鎌倉時代まで遡ります。境内にある六地藏は江戸時代の享保年間に安置されたものとされています。当時の若者たちは親しみあふれる六地藏を持ち上げては力自慢をしたという逸話が残されています。

**を** **を**思い出語れば **つき** つきないものよ **うち** 内田の歴史 **ひと** 人 **ぶん** 文化 **か** 文化  
内田地区は縄文時代の遺跡をはじめ、鎌倉時代から続くササヲ踊りなど歴史は古く、そのほかにも史跡、石像文化財、天然記念物、神社、仏閣など、多種多様な文化財が多く残されています。